

令和3年度 活動紹介票

団体名	特定非営利活動法人劇団ゆう	代表者 職・氏名	理事長 菊田 第一
住所	岩手県滝沢市鶴飼細谷地146番地18	電話	019-658-8988

事業内容

助成区分		復興枠
事業名称		東日本大震災文化芸術復興事業「三陸沿岸キッズミュージカル交流事業“2022”」
主な活動地域		滝沢市・奥州市・大船渡市・山田町・宮古市・洋野町
取組概要	目的	文化芸術の復興と被災者支援として、沿岸自治体との協働で世代を超えた住民参加型ミュージカル創作事業をNPOの専門性や絆力ネットワークを活かし継続的に実施する。
	内容	(1)絆力の構築と自立可能な発展的な活動を計画的に推進 発災直後から児童生徒参加型の活動を被災地沿岸全市町村で実施し、本格的な文化芸術活動の推進と地域間交流の促進、効率的な経費の運用を図る為に、北部エリア、中部エリア、南部エリアに集約すると共に、エリア間の相互出演者や交流を促進、更には内陸部の奥州市や盛岡広域圏事業との相互共演を通じて、将来を見据えたネットワーク(絆力)の構築を計画的に推進している。 (2)住民参加型創作活動、自立型育成活動を分離、着地点(出口)を明確にして活動 ①住民参加型は、地域や学齢を超えたミュージカル(文化芸術活動)との出会いと体験、地域交流を通して個々の進路の選択肢の一助とする ②自立型は、将来、自立、継続出来る地域の文化芸術活動の担い手を育成する部門として昨年から発展させて、独立部門としたが各エリア共に興味関心が高く募集直後に定員に達した。 (3)家族ボランティア、市民ボランティアが拡大、練習会場への送迎や練習時のビデオ撮影を行ない、各家庭で出演者へのアドバイス、練習会場の受付や消毒、清掃等の支援や引きこもり等の被災者への呼びかけ等の協力 (4)劇団ゆうは、行政との協働で事業の推進と各エリアの出演者の指導に当たると共に、成果公演のプロデュースを担当、とくにも練習会場、公演会場には多人数が参集するので消毒を徹底しコロナ感染予防に務めた。
	成果 (将来計画)	1.NHKが特集番組を放送 NHKが、発災直後から継続している本事業を特集番組として放送、これまで以上に事業の必要性や活動の周知、活動支援の拡大に繋がると期待される。 2.絆力の構築と発展的な活動が確実に推進 本事業の目的である「心の復興」と「絆力を構築」して将来、自立、継続可能な文化芸術活動を地域で実現するに当たって、コロナ禍にあつての募集定員の達成、高い練習出席率、家族や市民ボランティアの拡大、各エリアや内陸との相互出演等は本事業が計画的に推進していることを実証。 3.成果発表会は、舞台構成、大道具、音響、照明等、本格的な舞台演出を行う。 4.本事業に関わった延べ人数7,420名。(将来計画) (1)持続可能な「世代を超えた住民参加型の市民ミュージカル」の自立を支援する。本事業が、被災した沿岸地域の文化芸術の復興の先導的なモデルケースとなり、各地域に伝統文化、芸能、新たな文化芸術活動が自発的に芽吹き始めることが、被災者の「心の復興(ケア)」を促し、地域の「絆力」の軸と交流を通じて、沿岸南北200kmの「縦軸交流」と内陸との「横軸」のネットワーク構築の一助となることを目指す。 (2)住民参加型創作活動、自立支援型育成活動の出口を見据えた活動を推進する。 3.行政、地域コミュニティ、家族や市民ボランティアの絆力の構築を図る。 4.補助金がなくなった場合の資金調達方法 (1)行政(地方自治体)の予算化を目指す。 (2)印刷物等に企業広告を掲載する。 (3)応募出演者から参加費を徴収する。 (4)成果公演の有料化を図る。 (5)クラウドファンディング、文化振興基金、地域創造等の助成金へ応募する。 (6)劇団ゆうへの寄附金、賛助会費の拡充を図る。
事業費(千円)		4,224千円(うち補助金3,801千円)

(山田町公演)

(大船渡市公演)

